

## 2. 平成 25 年度夏季 教員免許状更新講習2

「発音指導とリスニング指導のワークショップ・クリニック」

平成 25 年 8 月 6 日（火）

- ・「発音の向上と発音指導の見直し」
- ・「英語リスニングのクリニック（1）：文レベルの音のつながり」
- ・「英語リスニングのクリニック（2）：リスニングのストラテジー」

### ■講座のねらい

英語の音声に焦点を当てた体験型ワークショップ・クリニックを行う。

午前の部は、英語の発音を理解し発音指導の素地を教師自身が形成するために、音素の生成過程や音のつながりの仕組みを理解し、教室で使用されているテキストを用いた体験型ワークショップを通して、発音向上のための練習を行う。また、発音指導のヒントについて考える。

午後の「英語リスニングのクリニック（1）」では、次元を広げて、文レベルの音のつながりを取り扱う。リスニング（音声情報）とリーディング（文字情報）を関連付けたスラッシュリスニングの指導法について考える。

午後の「英語リスニングのクリニック（2）」では、捉えるまでは「存在しない」、聞こえても「すぐ消える」音声の不安定性に対応するため、音の判定と識別の遅れをなくし、その捉えた音を意味化する処理に生じる遅れも小さくするリスニングのストラテジーとしての指導ステップを考える。

#### ○担当：夫

- ① 9：10～10：10 日本語には見られない「音のつながり」の理解と教科書分析
- ② 10：20～11：20 発音練習と発音向上のクリニック
- ③ 11：30～12：30 発音指導へのヒント  
(昼食)

#### ○担当：東條

- ④ 13：20～14：20 文レベルの音のつながり

#### ○担当：中井

- ⑤ 14：30～16：00 リスニングのストラテジー

### 2.1 事前アンケート

#### I. この講習の受講を希望した理由はなんですか。

- ・これから先、発音指導が質的にも量的にも求められると思うが時間のかかる割に入試にはあまり役に立たないというのが実感だ。もっと効率よく指導できる術をご教授いただきたく思い受講させていただきたく存じます。
- ・授業での生徒に対する発音指導について、自分の経験も力量も不足しているので、この機会に勉強したい。
- ・前回の3月の講習を受講し、先生方の熱意のこもった講義をもう一度受けたいと思ったことと、これまで音声学や発音指導について学ぶ機会がほとんどなかったので受講したいと思いました。
- ・発音・リスニング指導力の向上のため。
- ・正しい発音についての知識を深めたいから。ホームページを見たら過去の受講者の評判が良かったから。
- ・講習のテーマに非常に興味を抱き、今後の教育現場で役立てたいと思い希望しました。
- ・発音指導・リスニング指導を生徒にしっかりとすることがありません。自分でも自身を持って教えられるとは言い難い状況です。発音にコンプレックスを持っている生徒も多いです。上手に発音できることを教えてやりたいと思いました。リスニング問題に取り組んでいると、思わぬ聞き間違いをしている生徒が多いのに気づかされます。英語の音の流れに説明できるようにしたいと思います。
- ・私立学校の英語科教員として、今現在は中学生を担当していますが、年度によっては高校生を担当することもあり、センターを中心としたリスニング指導に生かせるようにと考えました。また、中学校でもリスニングの指導については、どのように、どのくらいの頻度で授業内で取り入れるべきか、頭を悩ませるところだからです。
- ・新任の頃にお世話になった中井弘一先生の講義を受けられること。
- ・今年度は担当してないが、以前にリスニング演習の授業を担当した際に、より良いリスニングの授業がしたいと痛感したため。

- ・日程の都合が良かったため。
- ・発音指導、リスニング指導はなかなか難しく受講させていただいて指導に役立てたいと感じたため。
- ・私は日頃、授業では音読活動をたくさん取り入れるように心がけ、音声面の指導方法を模索してきました。この講座ではワークショップ型で具体的に学べるような工夫がされている印象を受けたので、ぜひ受講したいと思いました。
- ・生徒たちの聞く、話すスキルの向上に役立てたいと考えたからです。
- ・貴校の講座を受講した友人教員から、その受講内容を聞き、興味を持ちました。ICTを利用した英語の教育等、これから必要となる、指導を考えていける講座と感じています。
- ・発音向上のための練習に興味をもったからです。また、発音指導にかんするヒントをたくさん得たいと思ったからです。
- ・発音とリスニングは40名を相手にどのようなことができるかを長年悩み続けています。何かヒントになるようなことを学びたいと考えています。
- ・昨年の受講生の方々のコメントを見て、とても内容が充実したものであると思ったため。
- ・発音指導方法を学ぶため。
- ・昨年度、今年3月の講習を受講させていただき実のある講義を感謝し、実践させていただいております。これからの実践にそくした良い講義を受講したいと思ひ希望しました。
- ・発音練習やリスニングのクリニックに興味があったから。
- ・貴学の英語指導のカリキュラムより、多くの示唆を得た経験から、意義のある講習が受けられると確信したため。
- ・現在音読に特化して、教科書を100%理解し、インテイクからそのインテイクした表現を使ってアウトプットの自己表現までを最終目的として授業を行っています。音読とリスニングのディクテーション、スピーキング等を通して、リスニング力とスピーキング力の育成を目標としています。なかなか音読が伴わないことがあります。折に触れ指導していくことで、徐々に発音も改善されていくものとは思っているのですが、なかなか日本語発音から脱却できない。
- ・音読指導は本来最も大切なものであると思われませんが、授業では一番後ろ回しになるか、簡単な指導で終わってしまいがちですので、自分自身への反省を共に、新しい風を取り入れたいと思ひ、受講を希望しました。
- ・発音に自信がないので、自信をもって指導ができるように学びたいと思ひ希望しました。
- ・中井先生の「英語の教え方教室」に普段より参加しており、生徒の中には「発音向上」を望む者も多く、また自分自身もリスニングの指導法に興味をもっていたため。
- ・昨年度も発音の講座を希望しておりましたが、定員オーバーの為、受講することができませんでした。今年度が免許更新の期限となります。ぜひとも、この講座を受講し、講習単位取得をしたいと思ひ希望しました。音声学に興味があり、理論の復習する機会にもなると思ひています。
- ・発音指導はとても難しく感じていますので、とても興味のある分野です。
- ・私立学校の英語科教員として、現在は中学生を担当していますが、年度によっては高校生を担当することもあり、センターを中心としたリスニング指導に生かせるように考えました。また、中学校でもリスニングの指導については、どのように、どのくらいの頻度で授業内で取り入れるべきか、頭を悩ませるところだからです。
- ・発音指導について必要性を感じていた。
- ・リスニングの指導方法を学びたかったため。
- ・音声学について学ぶことがなかったため。発音指導に自信をもってできるようになりたいため。
- ・発音指導にはあまり時間をかけられないのが現状で、この点をいかに効率よく生徒に理解、実践させられるのかのヒントを得たいと思ひました。私自身は、発音指導は大好きなのですが生徒は難しいときめつけているのか反応はイマイチです。
- ・講座の内容に興味があるため
- ・発音指導に興味があり、きれいな発音ではなく（通じる発音に魅力をかんでいる。英語が国際語となりつつある中で、英語を母国語としない英語話者がどのように発音すれば、英語を母国語にする人に通じ、また英語を母国語としない人に対しても理解してもらえるのかについての指導法などご指導願いたい。
- ・今年3月に教員免許状更新講習3を受講させていただいたが、たいへんユニークな内容で、試験結果のフォローも丁寧であった。毎月、中井先生がされている「英語の教え方教室」へも出来る限り参加するようにしており、貴学の英語教育に対する、熱い姿勢にも、たいへん好感をもっているため。

## Ⅱ. この講習に期待することをご記入ください。

- ・授業に発音、音読を充分に取り入れながら英語力そのものをアップさせる方法を学びたいです。(受験英語に直結できるような)
- ・学習者の立場にたつて、どのようにすれば発音指導していけばよいのか見通しをつけたいと考えています。いままでいくつかのワークショップで断片ときには発音指導のヒントなどを得てきましたが、生徒に対して体系的に教えた経験がありません。今回は指導の手順など具体的な話、又はそのヒントになるようなものをつかめればよいなと思っています。
- ・生徒たちが自ら発音にも気をつけて音読・発言するようになるための指導方法のヒントをいただければと思います。
- ・自分自身の発音をより良くするとともに、生徒に対して発音指導する時の効果的なノウハウを学べたら嬉しいです。
- ・各先生方が実際の授業で発音やリスニングを指導する際にどのような工夫をされているのか、また指導上の注意点など情報共有をできればと期待しています。
- ・正しい発音にたどり着くまでの、スモール・ステップを教えてもらいたいと思っています。正しい発音をするために必要な口の形、舌の位置などを何か生徒がイメージしやすいたとえなどを使って説明することはできないのでしょうか？もしあれば教えていただきたいです。
- ・より良いリスニングの授業について学びたい。
- ・私自身の発音を向上させ、今後の指導に役立てたい。
- ・スラッシュ・イングリッシュの指導法を学びたい。
- ・私自身のリスニング力を向上させ、今後の指導に役立てたい。
- ・発音指導
- ・リスニング力を育てるために日々の授業の中でどのように指導すればよいか。
- ・センター試験対策
- ・どのようにすれば効果的にリスニングを向上させることができるのか。
- ・まず、英語の音声の仕組みを理解し、自分自身の発音を改善したいと思います。さらに生徒への発音指導の具体的な方法を紹介していただき、日々の授業での発音指導を改善していきたいと考えています。私の勤務する高校では、英検を受験する生徒が多く、リスニング指導法も私の中では、大きなテーマになっています。この講座で、効果的なリスニング指導法を紹介してもらえると嬉しいです。
- ・生徒たちは、リスニングができるようになったり、自分できれいに発音できたりするととても喜びます。そのスキルを上達させることができたら、「英語は得意じゃないけど好き」と思える子がふえると思います。ぜひその方法を知りたいです。
- ・発音指導は、1年生にとって、音と文字を結び付けるために、必要な指導と感じ、フォニックスなどを導入していますが、どのような形式で、導入展開しているのか具体的(長期的)なスパンを踏まえた指導はできていないように感じています。発音指導や、リスニング指導の tips をいただき、自身の授業展開に実践していけるような指導方法を交流やワークショップの中で考え、自校で応用できたら嬉しいです。
- ・日本人発音から抜け出す方法について教えていただきたいです。
- ・授業に活用できる指導法
- ・英語が苦手な生徒でも、リスニング課題にはとても積極的に取り組むので、授業で使えるような指導方法を学びたい。
- ・発音、リスニングの指導は、バリエーションがあまりなく、新たな指導方法を学びたい。
- ・授業で活用できる実践向きの講義を希望します。
- ・より発音の向上を。
- ・前回様に、自分のスキルアップを目指したいと思いますのでよろしくお願いします。
- ・発音改善の教授法のポイントを学びたいです。
- ・生徒と引き付けるような効果的かつ実践的な指導法を教えていただきたいです。
- ・発音やリスニングに関して、私自身、学校で学んだことがなく、本を読んで勉強したんだと思います。どのように教えればいいのかとい確固たるものがない状態です。本講義を受けて、発音とリスニング指導のイメージ化を図りたいと思います。
- ・あらゆることに期待しています。
- ・実際に生徒に指導するときのスキルを教えていただきたいと思います。また、自分自身の発音についても弱点を知り、改善へとつなげていこうと思っています。
- ・発音指導の方法を教授していただいて、しっかり学んで授業に活かしたいです。
- ・「英語リスニングのクリニック」ということで、理論的に「弱化」「連結」「脱落」などの英語の音声法則を、実際の授業でも少し

ずつ取り入れられるよう知りたいと思っています。

- ・発音指導力の向上
- ・自分の発音に自信を持てるようにしたい。基本的なことを身につけたい。
- ・生徒の発音向上とリスニング力 UP へとなる良いヒントを教えてください。
- ・より発音、リスニング指導のヒントを得たい。
- ・英語を母国語としない英語話者が国際語となっている英語を話す場合において、どのように発音することが国際理解の妨げにならないかが知りたい。
- ・私の授業においても、リスニングについては、できるだけ多くの時間を充てるよう、配慮している。今回のワークショップを通して、さまざまな習熟度の生徒に対する効果的な指導法を学びたい。

### Ⅲ. ご自身の英語の教科活動で日頃課題としていることはなんですか。

- ・正直あまり発音に力を入れていません。英文の解釈に時間がかかりすぎ余裕がないのが現状です。唯一していることは、本日のポイント文法を使ってオリジナル英文作成とその音読くらいです。もっとよい活動方法をお教えたければ切に願います。
- ・今年はコミュニケーション英語 1 を担当していますので、総合的な英語の教え方を日々試行錯誤を重ねて研究しています。
- ・授業では文法や構文 etc. の解説に時間をとられ音読の時間が少なくなってしまう。英文をスラスラと読めれば、学習意欲向上にもつながると思うので音読の時間を確保することが課題です。
- ・カタカナ的発音からの脱却。
- ・楽しくわかりやすい授業をする。
- ・教師中心ではなく、生徒中心の授業を展開するためには、具体的にどのような活動を取り入れるのが効果的なのか悩んでいます。
- ・ご自身の英語の教科活動で日頃課題としていることはなんですか？生徒がより多くの英語を話す時間を設けること、ペアワークを取り入れて飽きさせない工夫をすることです。読解させる時には、生徒に話の内容がイメージしやすいように、自分で音読をしています。
- ・自分自身が意図したことを指導するだけでなく、生徒が疑問に感じることを、その都度敏感に察知し、タイミング良くその疑問を生徒自身が解決して納得する手助けとなるような指導をしたい。
- ・リスニング＝ただ聞くだけの活動になってしまう。具体的にどんなステップをふんだ活動をしたらよいものか。1年生発音記号から学習して3年のセンター試験対策まで持っていくべきか。(3年生でも発音記号が読めない生徒が多い)
- ・語彙指導、読解、問題演習などすべてにおいて、音読をさせるようにしています。単調にならないようにペアワークやグループ活動を取り入れたり、音読の仕方も様々な形式で工夫しています。また、1年時から、発音記号が読めるように指導を行っています。授業中の小テストや、定期テストでも発音記号の問題を出題するようにしています。リスニングに関しても、問題集を持たせて、授業で扱うようにしています。音声面を意識し、日々授業を行うように心がけています。
- ・毎回英語を聞かせる、発音させる、音読させるなどの活動を取り入れてはいますが、まだまだ生徒の英語を使う時間を1時間の中にふやしたいと考えています。
- ・授業の中では、教師ができる限りたくさんの英語のインストラクションを行い、その中で、生徒ができる限り、英語を聞く時間を増やしたいと思っています。また、音読できる機会を増やし、生徒が中心として進むのではなく、音読活動を重視し、英語を音読、暗唱する時間を重視しています。
- ・日本人発音を生徒にリピートさせていることを心苦しく思っているため、なんとか発音の向上に取り組みたいと思います。
- ・進学校にはほど遠く英語嫌いの生徒たちにいかに英語を学ぶことの大切さや楽しさをわかってもらいたい。
- ・どのようにすれば生徒に知的好奇心を持ってもらえるのか。英語が苦手な生徒に対してどのような授業内容が一番効果的か。
- ・楽しく、より多くの習得を！
- ・コミュニケーション力を引き上げより実用できる英語力を身につけることを目標としていますが、実際生徒たちが実践できる場所を作るのが難しく帝京できないことが課題となっています。
- ・声を出して、楽しく発音練習すること。
- ・授業の後、生徒に英語の余韻が残る授業をすること。
- ・音読指導やリスニングでディクテーションや T or F や Q & A を行っていますが、なかなか発音指導まで体系的に行う時間がとれていません。今回発音指導を学んで、体系的に指導できたら、生徒の発音が改善されて、それがまたモチベーションにつながればと考えています。



- ・フォニックスを紹介したり、リスニング指導の時も音読を何回もさせたりしておりますが、生徒の中にはなかなか speak up しない子もいてそういう生徒にいかにか口を開いてもらうかがずっと課題です。コミュニケーション能力を少しでも向上させるような取り組みをしていきたいです。
- ・講師登録者の身ですので、現在教壇に立っていませんが、英語指導の課題として私が考えていることは、学校での英語教育をいかにして実践の英語力として活用できるよう指導できるのか、そしてどのようにしたら生徒が楽しいと思える授業になるのかということに興味があります。
- ・“No pain, no gain” の言葉を頭に入れて毎日頃活動しています。
- ・低学力と言われる者への基礎・基本の定着をする為にどのように指導をしていくのが良いか。文法指導のみではなく、道徳教材の一つとして教材の内容を取り上げていくことを継続的にすること。異文化について興味・関心を持たせる為にどのようにしていくのか。以上が現在の課題です。
- ・耳からの導入は、とても大切なので、新しい単元に入ったら CD 2回、私（教師のリーディング）、ゆっくり普通、早くとも3回は聞かせてリピートさせてから授業に入るようにしています。
- ・やはり、いかにして生徒の英語アウトプットの時間を増やすか、というところ。恥ずかしさもありまた自信のなさもあり、高学年になるにつれ、なかなか発話をしなくなっていく傾向がありますので、あとは語力の指導です。単語テスト以外に何か有効な手段はないものか、日々考えています。
- ・生徒の学習への意欲向上。「話す力」「書く力」はもちろん英語力の向上のためにどのような指導をすればいいか、日々悩みながら指導しています。
- ・教師からの一方通行ではなく生徒同士で教え合いながら成長していけるよう、授業のなかで工夫をしています。ただ、英語できちんと発音できるようにする方法をもっと考えていきたいです。
- ・生徒が英語学習に対して積極的である。
- ・発音に関しては、文の中のリンキング指導に力を入れている。それをどのように生徒が受け入れるのか？なかなかカタカナ読みから脱することが難しい現状です。
- ・生徒に英語への興味を持たせ学ぶ必要性を実感させること
- ・授業では英語を話すことを心掛け、できるだけ英語で授業を進めることにしている。しかし自分が話す英語は理解されても AET や留学生が来たときに彼らが話す英語も理解できるような英語の話し方を心がけている。
- ・四技能の総合的、統合的な指導に向けて、どのような基礎学力が必要であるかを、家庭学習のあり方とともに考えている。

## 2.2 講習評価・受講コメント

文科省報告書式による講習評価（対象教員及び聴講教員：36名）

### 評価基準

- 4：よい（十分満足した・十分成果を得られた）
- 3：だいたいよい（満足した・成果を得られた）
- 2：あまり十分でない（あまり満足しなかった・あまり成果を得られなかった）
- 1：不十分（満足しなかった・成果を得られなかった）

### I. 本講習の内容・方法についての総合的な評価（4段階評価）

1. 学校現場が直面する諸状況や教員の課題意識を反映して行われていた。
2. 講習のねらいや到達目標が明確であり、講習内容はそれらに即したものであった。
3. 受講生の学習意欲がわくような工夫をしていた。
4. 適切な要約やポイントの指摘等がなされ、説明が分かりやすかった。
5. 配付資料等使用した教材は適切であった。

	平均	4	3	2	1
受講者 36名	3.86	31人	5人		

### II. 本講習を受講したあなたの最新の知識・技能の修得の成果についての総合的な評価（4段階評価）

6. 教職生活を振り返るとともに、教職への意欲の再喚起、新たな気持ちでの取り組みへの契機となった。

7. 教育を巡る様々な状況、幅広い視野、全国的な動向等を修得することができた。
8. 各教育活動に係る学問分野の最新の研究動向、これまでの研修等では得られなかった理論・考え方・指導法や技術等を学ぶことができ、今後の教職生活の中での活用や自らの研修での継続した学習が見込まれる。
9. 受講前よりも講習内容への興味が深まり、教員としての知識技能の厚みや多様さを増す一助となった。

	平均	4	3	2	1
受講者 36名	3.86	32人	3人	1人	

### Ⅲ. 本講習の運営面（受講者数、会場、連絡等）についての評価（4段階評価）

	平均	4	3	2	1
受講者 36名	3.89	32人	4人		

#### 本学依頼受講者記述講習コメント

- ・ 本日、発音トレーニングを受けて一つ一つの音をていねいに意識し、自分の発音を見直そうと思いました。発音は、スポーツでいう基礎トレーニングや筋トレと同じで、きちんと口を動かして行くと本当に疲れるものだと改めて実感しました。生徒にえらそうなことをいえるように私も日々努力するつもりです。本日はほんとうにありがとうございました。
- ・ 今日の講習も素晴らしくあっという間に時間が過ぎました。どの先生も英語が本当に好きなんだというのが伝わってきました。私も生徒にそんなふう感じてもらえるよう日々成長していけるよう頑張りたいです。
- ・ 夫先生…わかりやすい指導法「鳥の鳴き声」など具体的に教えていただきわかりやすかったです。また、大学卒業後では本当に久しぶりの音声学で新鮮で楽しかったです。また受けてみたいです。東條先生…毎回わかりやすく、簡潔にまとめられているところがよかったです。自分自身、先生の講習を受け、情報処理力、思考力の大切さがわかります。また受けてみたいです。中井先生…本日の講習において、リスニング力症状診断は生徒だけでなく、私自身においても、役立つ内容であったと思います。反省会がなかったのが残念ですが、次回もっと議論したいです。
- ・ 中学校と高校の両方を教えているので、中学校での発音指導やリスニング指導に大変有効な指導方法や理論やテクニカル・タームをたくさん教えていただきました。高校生に対して、受験におけるリスニング指導だけでなく、TOEICの指導もこれからはなければならないので、今回の指導法は多岐に亘って参考になりました。また、自分自身のリスニング力を伸ばしていくためにもインターネットのサイトなども有効なものも教えていただいたので、これから利用していきたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 発音指導では、夫先生の発音を聴いて、教師自身がお手本になることが大切だと思いました。また、今日の講習で発音練習をしてみて、普段の発音がいい加減になっていることにも気づきました。これでは生徒を刺激することはできないので、もう一度丁寧に発音することを心がけようと思います。リスニングは私自身も苦手な分野です。音に慣れる。英文の内容をつかむという訓練は常に続けたいと思います。今日、多くの練習方法を紹介していただきました。自分自身の訓練と授業でも取り入れていきたいです。ありがとうございました。
- ・ 一から発音を勉強できて本当によかったです。自信を持って生徒に教えられる。個人的にも速い速度の英語は苦手なので「ちょっとガンバラなあかん」と思いました。文法説明と訳をして時間が足りなくなり、音声に力を入れられないジレンマから早く脱出しないと思いました。講義も楽しく勉強にもなりました。ありがとうございました。
- ・ 発音の指導について、母音と子音の発音からシャドーイングやサイトトランスレーション、スラッシュリーディングなど、新しい方法まで教えていただきとても勉強になりました。今日の講習はどの時間も分かりやすく楽しく6時間があっという間でした。今日教えていただいた内容を二学期以降の授業に少しでも実践していきたいです。三人の先生方、本当にありがとうございました。
- ・ 前回の3月に受講させていただいて、大変勉強になったので、今回のテーマについても是非貴学で受講させていただきたいと思いました。期待以上に本当に勉強になることばかりでした。私はまだまだ勉強不足だと痛感していますが、日々自分に来ることを精いっぱい努めていく所存です。本日は誠にありがとうございました。
- ・ 3月の講習に続き二度目の受講です。本日の講義では(特に発音、音声について)大学でもこんなに詳しく習ったのだろうかと思うほど、丁寧に教えてくださり、本当に受講してよかったと思いました。生徒にもわかりやすいイメージで“音”の出し方を教えていただいたので、二学期から活用させていただきます。東條先生、中井先生の講義では「リスニングとは何か?」という根本的なところから考え直し、生徒たちに何から指導していけばよいのかというヒントを与えていただきました。どうもありがとうございました。

- ・発音については、自分自身の発音の弱点を見直すよい機会になりました。また、生徒たちが発音しづらい音やどのように指導すればよいか等、大変分かりやすかったです。日本語の音との違いや、日本語の母音を使った舌の位置の例など使わせていただきます。リスニングについては、どちらの講座も実践的で生徒たちに無理を求めていることも認識しました。しっかりと順を追って取り組みをさせないと、出来ないことは当たり前なのに、それをしていないなかったことも考えさせられました。また、リスニングの診断を用いて、生徒自身に自分がリスニングをするのに何が不足しているのか？自己診断させてみるのも良いかな？と思っています。今日は貴重な講座をありがとうございました。
- ・発音練習は久しぶりに新鮮で楽しかったです。中には頭の固いひねくれた子どももいるので、その子たちには、音の出る構造や舌の位置といったアプローチが有効かと思いました。リスニングは、子どもにとって出来たらすぐ嬉しいもの、達成感があるものなので、発音・音読練習をセットで前向きに取り組ませたいです。二日間ありがとうございました。大変勉強になりました。
- ・非常に有意義な講習を受けることが出来ました。ありがとうございました。第一部では、専門的な説明で詳しく理解できたと同時に生徒にとってわかりやすいなたとえや、口の中の様子を手で示す方法なども多数例示していただき参考になりました。せっかく自分の声を録音したので、それがちゃんと発音できているのか否かや、自分の発音の改善すべき点のはっきり指摘される状態であれば、よりよかったですと思います。第二部、非常に心地よく聞ける講義であつという間でした。OCW是非聞いてみようと思います。中井先生の講義、教材として非常に懐かしく感じられるもの&様々な手法を取り入れたものも、多数教えていただきありがとうございました。つい最近に自分が授業でやっていたリスニングは、いったいなんだつたんだ？！と深く反省する次第です。ストラテジーの色々も…ですが、生徒の気持ちを惹きつけて離さない授業のあり方についても、あらためて、しみじみと考えさせられ、初心に戻ってまたしっかり頑張ろう！という気持ちにさせていただきました。本当にありがとうございました。
- ・今まで発音についてきちんと学んだことがなかったので、非常にありがたく思い拝聴しました。とてもわかりやすく、実際自らも発音するので理解しやすかったです。また、午後の授業では、シャドーイングの練習を教えてもらい実用的な授業でした。ありがとうございました。
- ・英語の発音をする際の母音の発音に注意することにとっても感銘を受けた。授業で指導していきたい。
- ・第一部は非常に良かったです。講座の目標ははっきりしていたし、まさに発音指導を見直せる内容・資料でした。基本的に新しいことはないのですが、これまで曖昧だった部分がとても理論的に説明され、指導上留意する点もよくわかりました。第二部は、リプロダクション等は新しいことはありませんでしたが、Lexical bundle や Open Courseware が参考になりました。第三部は、すでに既習事項が多く、講座の目的もわかりにくいものでした。時間が超過し、最後は終わらず残念です。情報を精査して頂き、重要なポイントとそれぞれの活動を効果的なものにするために押さえるべきポイントを示してほしかったです。活動のやり方のみで、指導上留意するポイントがなかったように思います。少し講座の構成が良くない印象を受けました。
- ・発音指導をするにあたり、必要な理論だけでなく、具体的な指導法など様々な学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。はじめての朝から夕方までの講習でしたが、興味深く受けることができました。内容もリスニングに絞っているものの、それぞれの先生方に個性があってすごく良かったです。私は中学校教員なので、もちろん音声学の分野、リスニングのストラテジーなどすべてをフィードバックできないでしょうが、それでもこの秋から使っていきたいアイデアやお話もたくさんありました。
- ・大学での音声学の授業以来、久しぶりに日本語・英語の発音の基本的な違いを「生徒にわかりやすく指導する」という観点を学べ直しができました。正しい発音がなければ、100%コミュニケーションとしての英語の意義をなさないことを生徒にも伝えて行きたいと思います。
- ・発音指導では、授業の中でも教えていたが、ともすると、二の次になっていたが、もっと力を入れて指導すべきだと思った。口の開け方、下の位置、振動など細部を自分でも再度確認することができた。リスニングでは、聞き取りにくい音やフレーズに着目して教える必要がありそこを聞き取らせるための指導法の理解が深められた。特にスラッシュリーディングでは塊の文のとらえから、全文への理解の深め方が問題となっているが、繰り返しの練習で語彙と文彙の幅を広げることができるようになることで、全文の理解へつなげることができると思われた。
- ・発音の指導で、自分なりの工夫をしてきたつもりではあったが、今日、受講して発音の仕方、教え方など基礎から学習し直せたことが、一番の自分の収穫です。[æ][ʌ][a]の発音の違いやどのように声かけをすれば良いかが、よくわかりました。発音を指導する際に今ひとつ、自信のないところが今までありましたが、今日の研修でよくわかりました。これからが発音を含めて大切さを生徒に伝えていきたいと思っています。この講座は、ずっと受けたいと思っていたのですが、今日ヤット講習を受けることができ、内容もとても満足のいくもので、夫先生、東條先生、中井先生には本当に感謝です。
- ・豊富な資料とたくみな話術であつという間の1日でした。ありがとうございました。



- ・発音は、意識して勉強しないと向上しないものだと改めて思い知らされました。残り少なくなった教師生活ですが、あらためて自分を鍛え直したいと思います。リスニングも自分自身を生徒達の力をあきらめてはいけないのだと実感しました。手を変え、品を変え、生徒達にあきらめさせない授業を考えたいと思います。ありがとうございました。
- ・教員でありながら、曖昧な発音を行っていたこと反省させていただき、よい研修になりました。授業で使えるアイデアや教師のスキルアップのためのアイデアもたくさんいただき、実りある1日になり、感謝しています。
- ・発音指導の見直しでは、生徒へどのように言えば伝わるのかを具体的に提示してもらえたので、授業にすぐに活かせるのはすごくうれしい。リスニングの指導は、発音やいろんなものと関連していて難しいと思っている毎日だったので、目の前が広がったような気がしている。
- ・2日間ありがとうございました。今日の午前中の発音指導について、発音の向上についての講習では自分自身が音の出しからの違いを体験でき、その体験方法までも詳しく教えていただいたので、これを早く生徒に体験させてやりたいと思いました。午後も、昨日同様、盛りだくさんの情報をいただき、ていねいに教えていただいたので、早速2学期以降の授業に取り入れさせていきたいと思いました。
- ・大阪女学院大学で免許状更新講習を受けようと思ったきっかけになったのは、発音とリスニングに関する講座があったからです。私自身ちゃんとした発音指導を受けたことがなく、手探りで生徒に教えていました。今日体系的に教える機会を得ることができとても感謝しています。もちろんこれからも日々精進しなければなりません… 2日間、様々なノウハウを教えていただきありがとうございました。
- ・非常に参考になりました。生徒が発音記号さえ読めないのを知りつつも、音声指導に割く時間が無いと言い訳をする日々…。語学の教員として大きなジレンマを抱える日々ですが、この状況を改善するために少しずつですが、あえ向きに努力していこうと強く感じました。本日は本当にありがとうございました。
- ・リスニングの指導の重要性をあらためて認識させられました。授業中に私が話す発音についてももっと意識して発音しなくてはいけないと思いました。リスニングの力をつけるために、ディクテーション、シャドウイング、スラッシュ・リーディング、サイトトランスレーションなど様々な手法を紹介していただき、とても参考になりました。これからの授業に活かしていきたいと思います。
- ・授業で活かすというよりは自分自身のための学びだったように思います。そしてもっと英語を勉強しなさい！と貴学の先生方から背中を押されたようで、“頑張ろう”との思いを新たにしました。もっと日数をかけて学生に戻り通いたかったです。ありがとうございました。一生、英語を学んでいきたいと思います。Live and Learn.
- ・第一部では学生時代に習ったままになっていた母音子音の発音の確認をすることができ、また授業の早い段階で生徒の指導をしていくことの必要性を理解することができました。第二部では、現在の勤務校で授業内容にすぐに活かせることは難しいが、今後自分のリスニング理解力を伸ばすヒントを得ることができた。第三部では、様々なリスニングの学習方法を示していただいたことで、レポートとディクテーションに頼っている今の指導法を改善しなければならないという意識を持つことができた。
- ・発音については、はっきりと分かっていなかった点が分かりとても役立ちました継続して練習していきたいと思います。リスニングについては、なぜ聞き取れないかの理由を考える一助となりよかったです。熱心な講義有り難うございました。
- ・音声学の講習では、自分がこれまで英語の音声、発音について学んだことがなかったのでとても勉強になったし、継続的に受けていかないと身につかないと思いました。リスニングのストラテジーでは、確かにリスニングは聞いて採点して終わっているところがあったので、そうではなく基礎となる発音や音のつながりを学ばせる必要があると思いました。とても参考になりました。ありがとうございました。またこのような講習があれば受講したいと思います。
- ・久しぶり発音練習で、少し忘れていているところなどあり、あいまいだった所も学ぶことができた。日々の教材研究に追われ、発音やリスニングは後回しになりがちだったが、これからの授業でも楽しく取り組みそうな案をたくさんもらったので取り入れていこうと思います。また、このような研修に参加していこうと思います。
- ・とても勉強になりました、今日、昨日の両日を通して学んだことをもとに今後の teaching plan を見直し、新しく改革していこうと思います。先生方、ありがとうございました。
- ・大変役立つ多くの教授法を学ばせていただき、感謝しております。学んだだけではなく、これを実践していくことが大切なので、頑張って指導に活かしていきたいと思います。本当に熱心なご指導ありがとうございました。
- ・多くの情報を与えていただき、消化不良になってしまいそうなほどです。せっかくの2日間の内容を現場で活かせるよう、生徒の授業の復習と同様、よく見返してみようと思います。授業には準備は欠かせない！改めて感じました。今日感じた充実感が冷めないうちに、自分の授業でももっとしっかり準備し、先生方の講習にかけてくださった情熱と同じほど、自分も熱心に授業の準備をしたいと思います。有意義な二日間ありがとうございました。





---

### 3. 授業デザインスキルアップ演習 平成 25 年 8 月 8 日(木) 9:30 - 16:40

担当教員：中井弘一

対象 本学学生 4年次集中講座 (教育実習履修後)

現職中学校・高等学校教員 参加教員：30名 本学学生：1名

#### 概要

現職教員向けの研修に教育実習修了の4年生に皆受講させ、プロフェッショナルとしての指導力の養成を図る。そのため、教員免許更新講習を受講させ現職教員と共に学ぶ機会を与える

- ・ 日常の授業設計・展開での成功例や失敗例を基に、さらに授業力を高める教育方法を探究する

#### テーマ「英語表現活動を考える」

##### 内容

- 英語表現活動探究(1) 発音・音読による表現
- 英語表現活動探究(2) 日英感覚の違いから起こる表現の違い
- 英語表現活動探究(3) 英語表現の味わい：詩を翻訳、歌を翻訳する英語表現活動  
英語表現創作活動：写真に添える言葉(Photo Caption)・絵本翻訳・しおり

##### 参加教員コメント

- ・ たくさんの表現の方法、例をありがとうございます。心(感情)が動かされる内容がたくさん有り、涙を堪えるのを精いっぱい努力しました。いろいろな教育方法がありますが、感情や感性を大事にした授業を可能な限り入れたいと思います。ありがとうございます